



かなざわ

5月号 No.2

横浜市金沢区町屋町26-26 電話 781-2401

ひとつのことばで

学校長 高木 篤子

「おはようございます。」

朝、校門で子どもたちの声が響きます。自分から先に、目を合わせて挨拶できる子が増えてきています。1年生も上級生をお手本にして、はっきりと挨拶ができるようになりました。気持ちのよい一日の始まりです。



今年度1回目の朝会で、次のような詩を紹介しました。詩の一部を全校の子どもたちと一緒に声に出して読みながら、「ひとつのことば」の大切さについて話しました。

大人も子どもも、何気ない一言で人を傷つけてしまうことがあると思います。それが誤解だとしても、相手の心に深く刻まれてしまうかもしれません。

また、多くの人が温かい一言に励まされた、勇気をもった経験があると思います。自分の背中を押してくれた言葉は、そのときの表情とともに心に残っていることでしょう。言葉を受けただけでなく、自分の伝えた言葉が少しでも相手の心に響き、元気や自信につなげてくれたらと願いたいものです。

きっとそれぞれのご家庭で、お子さんを支え、やる気にさせる、一人ひとりに合った「魔法の言葉」をもっているのではないのでしょうか。

ひとつのことば

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなおり
ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心をもっている
きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを大切に
ひとつのことばを美しく

今年度も、学校生活における子ども相互のコミュニケーションを大切に育んでいきます。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様と学校との共感的なコミュニケーションをどうぞよろしくお願いいたします。